

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域展開推進協議会		
開 催 日 時	令和8年6月10日(水) 午後3時00分から午後4時30分まで		
開 催 場 所	上尾市青少年センター 会議室2・3		
議長(委員長・会長)氏名	只隈 伸也		
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 小林 恵実子 齋藤 順一 金子 輝大 高山 亮平 宮田 純生 根本 和彦 熊田 大樹 永井 基生		
欠席者(委員)氏名	なし		
事務局(庶務担当)	武田 直美 中澤 真治 田崎 守 森 正典 鳥丸 美鈴 目黒 寛人 玉造 勇輝 遠藤 誉幸 佐野 秀武 坂 和磨 ※AGEO地域クラブ統括コーディネーターも出席		
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果	
	1 報 告 (1)「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針」について (2) 令和8年度 事業の進捗状況について 2 協 議 (3) 休日の「AGEO地域クラブ」完全展開に向けて (4) 平日の学校部活動の地域展開に向けた諸課題について	別紙のとおり	
議 事 の 経 過	別紙のとおり		傍聴者数0 名
会 議 資 料	●令和8年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域展開推進協議会資料 ●別冊資料① 上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針 ●別冊資料①—2 上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針(概要版リーフレット) ●別冊資料② AGEO地域クラブ「完全展開」に向けた推進イメージ【令和4年度～令和8年度】 ●別冊資料③ 夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」教員用・保護者用リーフレット ●別冊資料④ 地区別保護者説明会開催要項 ●別冊資料⑤ 上尾市認定地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」令和8年度実施要項(後期入) ●別冊資料⑥ 上尾市認定地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」令和8年度後期(8～3月)参加者募集要項 ●別冊資料⑦ 上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」令和8年度実施要項 ●別冊資料⑧ 上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」令和8年度参加者募集要項		
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和8年 7月31日 議長(委員長・会長)の署名 <u>只隈伸也</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)			

議 事 の 経 過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	令和８年度 第１回 上尾市立中学校部活動地域展開推進協議会は、「審議会等の会議の公開に関する指針 ３ 会議の公開」により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。
各委員	賛同します。
只限委員長	では公開の協議会とさせていただきます。事務局、本日、傍聴の申し出はございますか。
事務局	本日の傍聴の申し出はありません。
只限委員長	それでは次第に従いまして、進めさせていただきます。 まず、報告（１）「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針」について、事務局より報告願います。
事務局	それでは、報告（１）「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針」について御説明いたします。 御承知のとおり、本基本方針は、昨年度の協議会にて、案を協議してまいりましたが、本年３月の上尾市教育委員会定例会にて議決されました。 改めまして主な改訂内容は、大きく５つでございます。まずは、国のガイドライン改訂に伴う、本事業を指す言葉「地域展開」への文言変更。次に、令和７年度に実施した「ＡＧＥＯ地域クラブ」の実証事業で得られたデータと課題を反映し、実態に即した、より持続可能な方針にするためのアップデートの実施。また、平日の学校部活動と改革の方向性に関する記載の変更。さらに、中体連等が主催する大会等への参加方針について、令和８年度以降も当面の間は「学校部活動」からの参加を基本とすること。そして、国のガイドラインをベースに、「ＡＧＥＯ地域クラブ」の実施主体団体認定制度を創設したこととなります。特に、認定制度につきましては、これからのＡＧＥＯ地域クラブにおける安全性と高い質を担保するための制度となります。重要となるのは「健全且つ持続可能的に運営するための管理徹底」だと考えており、各種目の地域クラブ活動を運営する実施主体団体には、市全体で統一されたルールに従うことを義務付けていきます。すべては子供たちの安心と安全のため、上尾市モデルの安全基準やコンプライアンスを遵守した体制を構築していきたいと考えております。なお、現在は「休日の地域展開」の定着フェーズにあたりますが、今後は平日の部活動改革の議論も深め、方向性が定まった時点で、さらなる基本方針の改訂へと繋げていくステップを想定しております。 報告（１）「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針」についての説明は以上でございます。
只限委員長	今年の３月、教育委員会定例会において、無事決議されたとのことでした。 今後は、改訂版の基本方針に則り、上尾市における地域展開を推進いただきますが、委員の皆様から事務局に望むことはありますか。

小林委員	中体連主催の大会は、そのまま学校から出場することになったと理解していますが、それで合っていますか。また、平日についても地域展開していくという話ですか。
事務局	中体連主催の大会について、上尾市の予選会については平日に開催されるため、当面は学校の部活動からの出場を考えています。また、今後、平日についても地域展開を目指していく方向です。
高山委員	一般の方々は、まだまだ部活動地域展開についてわからないところがたくさんあると思いますので、1枚の紙ではっきりとわかるような案内を出してほしいです。それがあすることで、部活動地域展開についての混乱や誤解を防げると考えます。
只隈委員長	フローチャートのようなものがあるとなお良いと思います。今日の協議会で委員の皆様から意見をいただいて、事務局に対応してもらいたいと思います。他に基本方針について質問はありますでしょうか。
萩原委員	「中体連等が主催する大会等への参加方針の明確化」と書いてありますが、主催大会等の等は何を指しているのでしょうか。中体連の主催大会については、平日に開催されるという前提で考えていると思いますが、休日については考えていないのでしょうか。
事務局	中体連等が主催する大会等の「等」の部分については、例えば吹奏楽コンクールや文化・芸術の発表会など、いわゆる公式の大会を想定しています。中体連の上尾市予選会も含め、こうした大会等は平日に開催しているので、部活動から大会等に出場することについては問題がないという認識です。
只隈委員長	次に、報告（2）令和8年度 事業の進捗状況について、事務局より説明願います。
事務局	続いて報告（2）令和8年度 事業の進捗状況について御説明いたします。本資料2頁より、大きく資料2にて、事業全体のことを。資料9頁からの資料3で、「AGEO地域クラブ」事業の進捗状況を。資料15ページの資料4で「イングリッシュサロン」事業の進捗状況を一括で説明させていただきます。なお、説明については、時間の関係で一部内容を抽出して行わせていただきます。 改めまして、今年の8月以降、休日については学校部活動を行わず、「AGEO地域クラブ」を完全展開することとなります。 まず、前回の協議会でも確認いただいておりますとおり、現時点の課題といたしましては、具体的に、自主財源による運営費の逼迫、専門的な指導者の不足、そして保護者の皆様への認知・理解がまだ十分に浸透していない点が挙げられます。 そのため、今年度は、運営費について、企業パートナーシップをさらに拡充するとともに、指導者について、兼職兼業を希望する教員や「アッピー部活動サポーター」など、多様な人材と各実施主体団体をマッチングする仕組みを強化していくこととしております。

また、リーフレットやSNSに加え、対面説明会の実施など、多様な方策を組み合わせることで、正確な情報周知と啓発による関係者の安心感を醸成できればと考えております。

さらに、平日のみの部活動の実施や休日続く平日の地域展開、さらに、AGEO地域クラブによる大会等へのスムーズな参画等についても課題となっている状況です。

こうした課題を乗り越えるため、今年度も関係機関との連携を強化しつつ、多面的なアプローチで解決策を講じていきたいと考えております。

続けて、令和8年度の年間スケジュールでございますが、今年度は4月から7月までの前半で、準備と周知を徹底的に行う期間としております。併せて、後期事業に向けた最終調整を行います。

年間スケジュールの後半、8月からは「休日完全展開」がスタートしますので、運営に万全を期すという1年となります。

教育委員会といたしましては、昨年度同様、本事業の課題解決に当たり、積極的な施策の展開を心がけてまいります。

それでは、ここから主な事業内容をいくつか御紹介させていただきます。

最初に、本協議会についてでございますが、今年度、委員の皆様は、2年任期の2年目に該当いたします。昨年度に引き続き、お忙しい中大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、アッピー部活動コーチ及びアッピー部活動サポーターについてでございますが、今年度も昨年度に引き続き、各校への配置を行っております。

今年度は、8月以降、休日の学校部活動を取り止めますので、ABC・ABSについては、可能な範囲で、地域クラブの指導者として御從事いただけるよう、現在調整を行っております。なお、あくまでも現時点にはなりますが、ABC21名中13名が、ABS41名中15名が、すでにAGEO地域クラブでの活動に関わっており、今後さらにその数は増える見通しとなっております。

続いて、本事業に係る情報発信についてでございますが、今年度も、市内児童生徒、保護者、そして学校の教職員。それぞれのターゲットに対して、情報が遮断されることなく、スムーズに流れるルートを確保していきたいと考えております。

リーフレットについては、昨年度同様、それぞれの属性を考慮した内容で定期的な発行を行う予定です。

次に、今年度新たに開催しております「地区別保護者説明会について」でございます。

今年度、新たな取組の1つとして、市内在住の小・中学生の保護者様を対象とした説明会を、市内4地区で開催することといたしました。こちらはその全体の日程と会場の御案内です。

各地区の説明会では、本方針の内容だけでなく、実際の申込み方法や費用、安全対策について、直接顔を合わせて丁寧に御説明することとしております。また、一方通行の説明に終始せず、皆様からの疑問や不安にその場で答えする「双方向の対話」を重視し、AGEO地域クラブに対し、保護者の皆様に安心してお子様を送り出していただけるようにしたいと考えております。

1日目、北西地区、南西地区における説明会につきましては、6月7日(日)に2会場でおおよそ60名を集めて開催させていただいております。

ここで、説明会終了後に御協力いただきましたアンケートの結果について、簡単にまとめましたので、御紹介させていただきます。

まず、参加された保護者の皆様に対し、「本事業に対する理解が深まったか」を御質問した内容につきましては、すべての保護者様より「理解が深まった」との回答をいただきました。「直接話を聞くことができ、活動のイメージがはっきりした」など、肯定的な感想が多数届いております。

これからの「期待」に係る内容につきましては、活動の質と安全性の向上に対する期待と要望が多く寄せられておりました。

6月14日（日）には、残り2会場の説明会が予定されておりますが、御参会の保護者様に対し、丁寧な説明と対応をすることで、さらに事業の価値が正しく周知されるようにしてまいります。

続けて、今年度の「AGEO地域クラブ」事業について、御説明させていただきます。

本日、別冊資料⑤「AGEO地域クラブ」、令和8年度実施要項を配布させていただきました。まずは本要項より、いくつかのポイントを御説明いたします。

既に御案内のとおり、令和8年度の具体的な運用スケジュールといたしましては、前期（移行期）の活動から、後期の「完全展開」へとスムーズにバトンを繋ぐため、2期制を導入して混乱を最小限に抑える対応とさせていただいております。

なお、後期事業も含めた実施要項及び参加者募集要項は完成しており、現在は、後期、8月以降の完全展開期における参加者募集が開始となっております。

全体の実施体制図でございますが、これまでの実証事業との変更はございません。教育委員会が事業主体となり、全体の舵取りを行うとともに、実際の運営管理は統括コーディネーターが担うこと。そして、各種目の専門団体が現場の指導を提供するという、強固な民間・行政連携パートナーシップ体制となります。

なお、統括コーディネーター業務につきましては、今年度も、市内所在のNPO法人サンワエナジークラブに委託させていただきました。今年度で3年目となっております。

また、今年度より、経済的な理由によって子供たちの選択肢が狭まることがないように、「上尾市地域クラブ活動参加支援制度」を設けることができました。就学援助世帯等を対象に、年会費相当額を補助する仕組みとなっております。

さらに、今年度も、新規企業トヨタカローラ埼玉様をはじめとする、たくさんの企業様から、御協賛をいただくことができております。

なお、現在実施しております前期事業につきましては、一時募集時点で、会員数964名。クラブ参加者数をベースとした数として1,061名の申込みをいただきました。

なお、資料への掲載が間に合わず申し訳ありませんが、最新のデータでは、6月1日時点の会員数が、1,092名。クラブ参加者数をベースとした数は1,220名まで増えてございます。

本資料には、参加者の属性を把握するためのいくつかのパターンを掲載しました。学校別、男女別、学年別、入会経験別のデータが掲載されておりますので、必要に応じて御確認をお願いいたします。

また、今年度も事業開始前に、各種目コーディネーターを対象とした代表者会議及び全登録指導者を対象とした研修会を開催し、安全と質を担保する地域クラブ活動の実施に向けた共通理解と指導者としての資質向上を図っております。

確認となりますが、AGEO地域クラブでは、特別な資格補助を、指導者に求めない代わりに、AGEO地域クラブが開催する研修会には、必ず参加しなければならないことを義務付けており、それによるライセンス交付を行っております。

やむを得ず、参加できない指導者も当然おりますが、その場合は、参集研修の様子を録画した研修をオンデマンドにて視聴し、研修レポートを提出、審査の後、認定を受ける、という流れをとっておりますので、御承知おきください。

次に、『後期事業』8月以降の「AGEO地域クラブ」完全展開の具体的な内容について説明いたします。

本日配布しております別冊資料⑥「参加者募集要項」には、これから始まる後期の活動スケジュールや、選べるすべての種目、そして詳しい申込み方法が分かりやすく掲載されています。

本日は要項より、内容をさらに詳しくかみ砕いて御説明します。

最初に、完全展開開始時の規模は、全22種目、57クラブとなります。

活動場所は、これまでと同様、市内の学校施設、公共施設を使用することとなります。

スポーツ系のクラブは、市内の中学校のグラウンドや体育館を主に使用しますが、特に参加者数が多い種目は、上尾市を4つの地区にバランスよく分けてクラブを配置できるよう可能な限り配慮しました。

文化芸術系の種目については、中学校だけでなく、一部の小学校の教室や、地域の公民館なども活用し、静かで集中できる環境を整えて実施することとしております。

活動は、原則として「土曜日・日曜日」。1回あたりの活動時間は、子供たちの体力や集中力を考慮し、移動時間を除いて「最大3時間以内」と決めています。

また、開始時期の8月、夏場は、熱中症対策ガイドラインを厳格に守り、子供たちの健康を最優先に運営します。

次に、今年度の参加費についてでございますが、1回当たり600円と設定いたしました。また、年会費額に変更はございませんが、アプリ利用料を月ごとにいただくことといたしました。なお、今年度もスposルアプリ及びスposル補償を、継続して使用します。

お申込みにつきましては、学校メール配信システム「さくら連絡網」を通して、参加者募集要項及び申込み用フォームを配布し、6月2日（火）より募集を開始いたしました。期限は7月17日（金）までとさせていただきますので、第2回協議会時には、完全展開時の参加申込み数について御報告させていただきます。

最後にイングリッシュサロン事業について簡単に説明いたします。

今年度も、部活動地域展開推進事業に伴う「新しい種目の選択肢」として、イングリッシュサロン事業を展開しております。一般競争入札の結果、今年度も運営は「株式会社ジョイトークイーストジャパン」にお願いすることとなりました。今年度も文化庁補助金を活用しながら、実証事業として培った確かな実績とノウハウをもとに、子供たちに質の高い体験を提供してまいります。すでに第1次募集期間は終了しており、今日までに、計「62名」のお申込みをいただいたところでございます。6月6日（土）に第1回活動を開始。今後月に2回のペースで活動を実施してまいります。なお、今年度は、AGEO地域クラブと同額の参加費設定及び「月会費制」での実施に切り替えました。また、傷害保険・損害賠償保険にも加入しての実施となります。

	以上、令和８年度 事業の進捗状況についての報告となります。
只隈委員長	部活動地域展開推進タスクフォースの委員の属性に変更はありますか。昨年度までは役職の先生であったと思いますが、今年度も継続ですか。
事務局	昨年度同様、今年度も継続して、各校の主幹教諭に委員を任命しています。また、より多角的な協議をするために、今年度は委員の構成を若干変更し、現場の教職員を追加しています。
只隈委員長	現場の意見を吸い上げたいという認識でいいでしょうか。
事務局	その認識で間違いありません。
高山委員	各校では、保護者に対して、どのような対応をしているのでしょうか。
根本委員	本校では、昨日保護者に、今後の部活動についてという文章を配布しました。意見は今後集まってくると思います。
宮田委員	本校でも、今後の方向性等についての問い合わせは、現在ございません。しかし、８月までの平日の部活動については、各校の校長間でも今後どうしていきたいか、認識が分かれています。市内では、７月の部活動終了時刻を午後５時３０分や午後４時４５分にする学校がすでにあります。本校では、混乱が大きいという判断から、現時点で、１学期は現行どおりの午後６時まで活動する予定です。ただ、９月以降は、部活動の時間を平日は午後５時くらいにしようと思っています。心配しているのは、中学校ごとに下校時刻が変わってしまうことです。
只隈委員長	現在、上尾市として活動時間の下校時刻については、市で一本化されていると思いますが、如何でしょうか。
事務局	上尾市立中学校に係る部活動の活動時間については、県の方針に基づき、市で一本化しております。また、下校時刻についても、市の教育委員会として限度を示しているところでございます。なお、現在今後の平日部活動について、下校時刻を定め直すことを検討しています。
只隈委員長	ここまでスポーツの話が中心になっていたので、文化部の話も聞きたいと思います。吹奏楽についてはどうなっていますか。前に聞いたときには、大会に調整するのに、土曜日、日曜日の練習はとても大事だという話でしたが、８月は活動しないことになっているのですか。
宮田委員	吹奏楽部については８月上旬にコンクールがあるため、それまでは休日の活動も認められる方針です。
永井委員	上尾中では８月の土日は活動しないと言っていて、もしそれで何か意見があれば連絡をしてくださいということになっていました。

只隈委員長	8月以降、中体連の主催大会以外は、教員は引率しないということになりますか。
事務局	中体連主催以外の大会は、今後地域クラブから出場することを考えておりますので、やむを得ず学校部活動として出場しなければならない大会以外は、原則教員の引率はありません。
宮田委員	サッカーの高円宮杯については、学校が参加申込み主体となっています。そのため、地域クラブとして参加できない部分に関しては、学校として出場し教員の引率があります。しかし、中体連の大会についても、県大会等に参加する場合は、休日に開催されることもあるので、それは例外として参加を認めてもらえるようお願いしたいと思います。 また、チームスポーツがチームとして休日に練習試合等をせず大会に出るということになるため、回数等を制限して休日に練習試合を許可することはできないかという話も校長会では出しています。
齋藤委員	連盟や協会主催の大会については、地域クラブからの参加は認められているのでしょうか。
事務局	AGEO地域クラブからの参加を基本とする旨を各連盟、協会に伝えております。
齋藤委員	認められていない大会については、上尾市として要望を出しているのですか。
事務局	当然要望も出しています。
齋藤委員	子供によっては上位大会に行きたいという子もいると思います。様々なニーズに応えられるようにしてほしいです。そのあたりを、今後、すり合わせられたらと思っています。
只隈委員長	スポーツ庁としては、休日の部活動地域展開を進めていくという方針です。他の地域と違って上尾市の場合は、地域と意見を交わしながら地域と共に地域展開を進めていける環境があるため、とてもよいと思います。
高山委員	保護者への周知は課題であると思います。説明会を実施することはよいと思いますが、参加者はまだまだ少ないと思います。このような説明会をこまめに開催し、保護者と直接やり取りする機会を継続してほしいと思います。
小林委員	私の息子が中学1年生ですが、顧問の先生が4月に説明してくれているので、子供たちは8月から休日の部活動がなくなるという認識を十分もっているようです。子供はたくさん練習するならクラブチームに行くしかないという認識になっています。ただ、土日の地域クラブについては、私が思っていた以上に指導者が素晴らしいので、期待以上という認識です。

宮田委員	土日がなくなることについては、昨年度から周知されているため、多くの生徒、保護者が知っていると思いますが、平日をどうするかという点についてはまだ周知されておらず、今後の課題です。
只隈委員長	上尾市の地域展開におけるクラブ設置数はかなり充実していますが、現在は5500人に対して1000人ちょっとという参加状況なので、引き続き周知は必要であると思います。最後に、沼田さんから意見をもらえますでしょうか。
沼田 統括コー ディネー ター	休日に地域クラブの活動を巡回していると、保護者から練習試合等について聞かれることが多くありました。試合については、地域クラブの大会を作るという企画も考えています。また、他市町村のコーディネーターとも連携をとって、地域クラブ同士の練習試合も構想しているところです。さらに、上尾市の学校総合体育大会を見回る中で、以前より学校間の交流や応援の姿が見られるようになったことを感じています。この姿は、上尾市の地域展開の推進により生まれた理想的な姿だと思っています。
只隈委員長	それでは、次に協議に移ります。最初に、事務局より説明願います。
事務局	本日は「休日地域クラブの完全展開」と、これから検討を始める「平日の部活動改革」について御説明し、皆様と協議を進めてまいります。よろしくお願いいたします。 本日のアジェンダは2段階です。 まずは今年8月に完全展開を迎える「休日クラブ」のこと。そして、これからの「平日の改革」に向けた課題整理となります。休日クラブは指導者の公認やアプリによる集金など順調に準備が進んでいますが、まだまだ精査・改善の余地があると考えています。完全展開に向けて「教育委員会が今後どのような役割を果たすべきか」、皆様の率直な御評価をお聞かせください。 2点目のテーマは、平日の地域展開に向かうに当たり、スライドに示した『指導者の確保』『活動時間・場所の制約』『下校時などの安全な移動』という、非常に大きな3つのハードルが重なり合っていることから、これらをどう解決していくかが議論のポイントになると考えております。休日と平日の前提条件の比較です。休日であれば協力しやすかった指導者も、平日の夕方は確保が難しくなり、冬場の日没の早さは生徒の夜間移動リスクを大きく高めます。 このように、休日の方法をただコピーするのではなく、平日に特化した新しい枠組みが必要です。 本日はグループワークを通じて、現状の懸念点を対話によって整理し、上尾市ならではの「納得度の高い方向性」へと昇華させていきたいと考えております。 グループAは只隈委員長を中心に、グループBは萩原副委員長を中心に編成をさせていただきました。それぞれ事務局職員も入りますので、それぞれの視点から活発な御意見をよろしくお願いいたします。

3 協 議

(1) 休日の「AGEO地域クラブ」完全展開に向けて

根本委員 学校の中体連の大会への参加について、上尾市の場合、学校部活動として参加しなくなった場合は、その後戻りたいとしても5～6年は戻さないと県の中体連会長が言っている。中体連は任意団体なので、そのことは、中体連で決めることができる。

熊田委員 子供は出場する大会の種類にこだわっていない。子供が入りやすい環境をつくれるとよい。子供たちは、どの団体の主催とかより、整備された環境（ルール）に乗っていくことを考えている。

高山委員 部活動地域展開については大人だけで話が進んでしまっている感もある。参加者は生徒であるので、生徒の意見をもっと聞いてもらいたい。子供たちに聞くことで、さらに柔軟な発想でAGEO地域クラブの充実を図れるかもしれない。

高山委員 上尾の地域展開は他地区と比べて大きく進んでいる。これについては、もっと上尾市としてPRしてもよいではないか。一方で、「こんなに進んでしまって大丈夫か」という意見もあるので、上尾に住んでいる生徒が、上尾に住んでいるからやりたいことができないという思いをしないようにしなければならない。

只隈委員長 タスクフォース会議は、素晴らしい取組だ。生徒に近い現場の先生の意見を取り入れられる。

熊田委員 私は地域クラブが今実施しているように、地域クラブは地域クラブの大会に出て、学校は中体連の大会に出てと棲み分けをはっきりして、しばらくの間はやるべきかと思う。

小林委員 保護者の中で、定員がいっぱいになったら入れないかもしれないという話がある。また、金銭面の問題からやらないという選択をする家庭もあると聞いている。そこに対する配慮があると良い。

宮田委員 8月1日以降に平日の部活動の活動時間も短縮する方向で検討が進んでいるため、教員のモチベーションが下がっている。平日の部活動の実施方針等にそしてもっと各校で協力しなければならない。

宮田委員 吹奏楽については、専門性の高い指導者が指導してくれて生徒は満足している。しかし、楽器等が破損したときの対応、責任の所在などは、はっきりさせて周知した方が良い。

(2) 平日の学校部活動の地域展開に向けた諸課題について

宮田委員 勤務時間が午後4時45分までであるが、現在のままだと帰りの会が終わるのが午後4時05分である。朝読書はなくす等、日課の工夫をできる可能性はあるが、給食の時間は動かすことができない。平日のみ部活動を永続的に続けることは難しい。

	宮田委員 平日の地域展開を考える際、開始時刻をできるだけ早めて地域クラブを開始するために、放課後、自転車を使うという案もあるが、全員が自転車通学するという点においては、駐輪場の問題をはじめ課題がある。 小林委員 山梨県の甲府市では、週 1 回のペースで地域クラブを平日にやっているという事例もある。週 1 くらいならクラブチームが見るという形も可能ではないか。 宮田委員 平日指導者の確保が今後の一番の課題である。
只隈委員長 各委員 只隈委員長	活発な御協議をありがとうございました。皆様から様々な御意見をいただきましたが、本協議会としては、事務局に、ここで出た御意見を反映した上で、引き続き、本事業を進めていただくということで御異議ございませんか。 異議なし。 上尾市は全国的にも先進的な取組を実施しています。よいか悪いかは、未来に他者から評価されるものですが、今後この取組は全国的に注目されると思っています。上尾市としてもっとそれを外出ししてもよいのではないかと考えています。 長時間に渡り、貴重な御意見ありがとうございました。また、進行への御協力ありがとうございました。司会を事務局にお返しいたします。